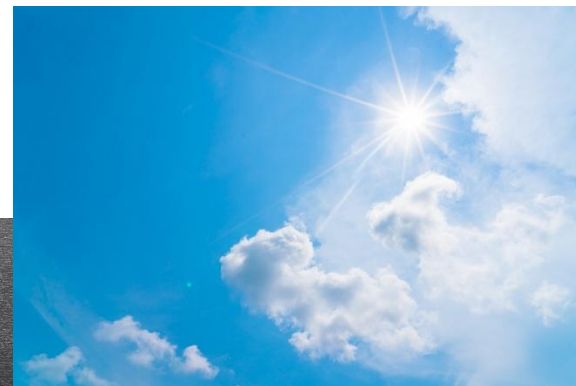


ソーラーシェアリング

×

沖縄県産コーヒー栽培



株式会社Ripple沖縄 

はじめに

皆さまは「ソーラーシェアリング」と聞いて、どんなイメージをお持ちでしょうか。

農業と太陽光の両立、あるいは売電事業の一形態、そんな印象を持たれる方も多いと思います。

私自身も最初は「売電が主で、農業は従」という理解でした。

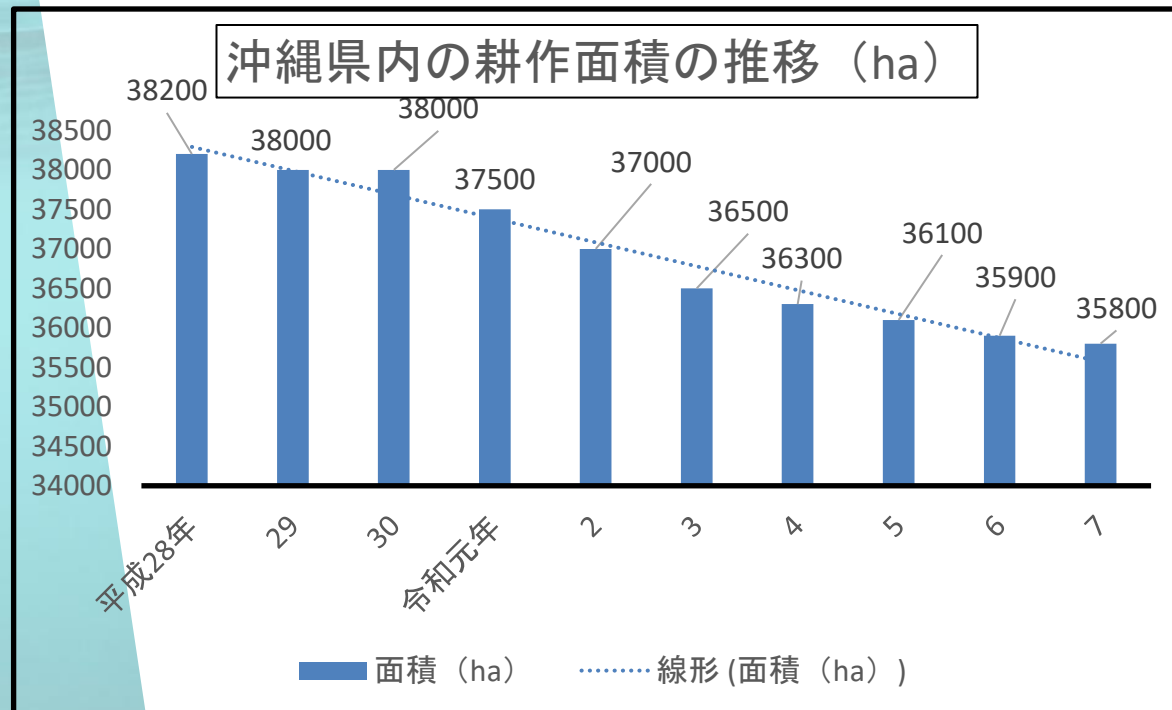
しかし、実際に沖縄で、さとうきび畑の遊休農地を使ってコーヒーを育てるソーラーシェアリングを始めてみて、考えが大きく変わりました。

“なぜ沖縄で” “なぜコーヒーで” “なぜソーラーシェアリングなのか”
そして、実践して初めて見えた価値と課題についてお話しします。

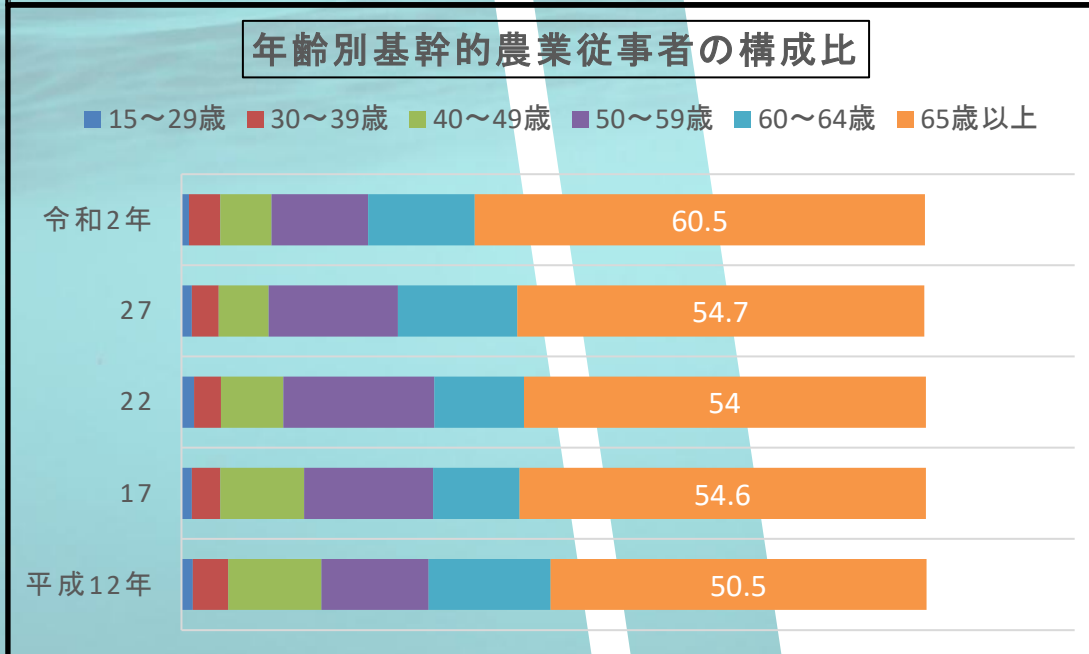
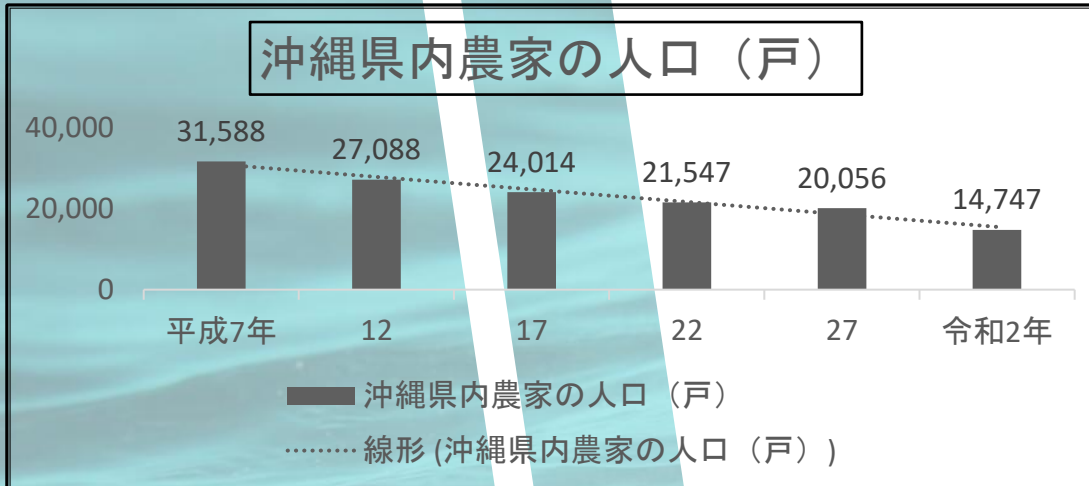
沖縄県の農業について①

沖縄の農業は、亜熱帯という日本でも特異な環境の中で、さとうきびを中心に成り立ってきました。

一方で、2025年時点での沖縄の耕地面積は、1990年代のピーク時から約25%減少しており、伴って遊休農地は着々と増加しております。



沖縄県の農業について②



遊休農地の増加

- ・高齡化
- ・後継者不足
- ・収入の不安定さ

なぜか？

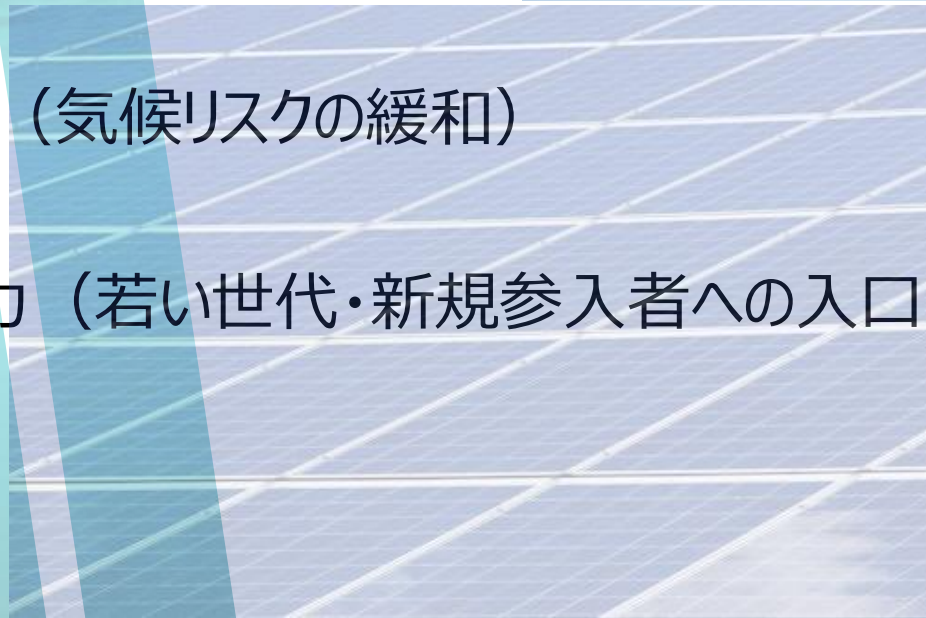
農業を
“続けられる仕組み”

が十分ではない。

遊休農地×ソーラーシェアリングの意味

ソーラーシェアリング3つのポイント

- 収入の複線化（農業単体からの脱却）
- 環境条件の改善（気候リスクの緩和）
- 担い手への訴求力（若い世代・新規参入者への入口）



ソーラーシェアリング×コーヒー栽培の意味

コーヒー栽培3つのポイント

- 半日陰を好む作物である
- 高付加価値のある作物である
- 希少性の高い作物である



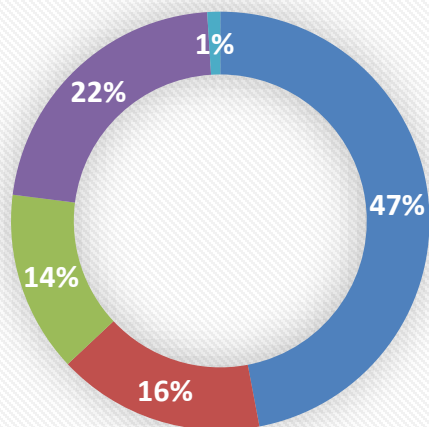
流通量1%未満の希少性

日本国内において、沖縄県産コーヒーは、**流通量が1%未満**しかない非常に希少な国産コーヒーです。

日本はコーヒーの消費量が世界第4位でありながら、99%は輸入に依存しているのが現状です。



日本のコーヒーの輸入先



- ブラジル
- ベトナム
- コロンビア
- その他（中南米・アフリカ等）
- 国産・他

通常のコーヒーの10～40倍の価格差

コーヒーの種類	100 g 当たりの価格	価格倍率
一般的な輸入豆	¥ 500	1倍
スペシャルティ輸入豆	¥ 1,500	約2倍
沖縄県産コーヒー豆 100% (通常品種)	¥ 5,000～ ¥ 15,000	10倍～30倍
沖縄県産コーヒー豆 100% (希少種)	¥ 20,000	40倍

同じ生豆1kgでも、**10倍以上の価格差**になる。

なぜか？



提供されるコーヒー	1杯の価格
大手カフェチェーン	¥ 400～ ¥ 600
スペシャルティカフェ	¥ 800～ ¥ 1,500
沖縄県産コーヒー (ブレンド)	¥ 1,000～ ¥ 2,000
沖縄県産コーヒー (100%)	¥ 2,000～ ¥ 4,000

“国産であること”
“希少であること”
“そのストーリー性”
が価値として評価されている。

名護市天仁屋ソーラーシェアリング



◆年間売電量（実測）

約165万kWh

400世帯分の電気使用量

◆設備規模

1.58MW 49.3Kw×32基

◆農地面積 / 耕作面積

約7,000坪 / 約3,100坪



平成28年～平成31年



- ・ 土作り
- ・ 苗の植え付け
- ・ 育成

3坪に1本の間隔で
植え付けを行い、約
1000本のコーヒー
苗を植え付け致しま
した。



知見者の意見を参考
にし、天仁屋のソー
ラーシェアリングで
は、遮光率51%に
設定し育成を開始致
しました。

令和元年～令和3年



- ・ 育成
- ・ 開花と結実

ソーラーシェアリングでの栽培は、露地栽培やハウス栽培に比べて苗木の成長速度が速く、葉っぱも大きく成長することが実証されました。

ほとんどの区画で順調に育成が進んでおりましたが、一部区画では上手に育成できず枯れてしまう区画も確認されました。

令和4年～令和7年

- ・ 育成
- ・ 開花と結実
- ・ 収穫期

植え付けから5年を過ぎるとコーヒーの実を付けるようになります。1M程だった樹高も3M近くなり、剪定をしながら横に横にと成長を促します。

このころになると、コーヒー豆の収穫が可能になり、1本あたり年間1～3Kgのコーヒーチェリーが収穫できるようになります。



コーヒーの収穫・販路など



天仁屋では、コーヒーの収穫を1つ1つ手作業で行い。精選（果肉の除去、乾燥、脱穀）まで丁寧に処理します。



こうして長年の手間と時間をかけて収穫したコーヒーは、地元の農家を通して地元のカフェやECサイトにて販売されます。



太陽光パネルが適度な日陰を生み出し、豆の大きさ、形、艶感のよい高品質な豆が収穫出来ております。

実践者としてのソーラーシェアリングの価値

1. 農地を放棄させない現実的な選択肢になっている
2. 農業を「続けられる事業」に変えられる
3. 次世代に語れる農業になる



今後の課題と展望①

ソーラーシェアリングは制度上存在しているものの、助成、保証、保険といった部分はまだ十分とは言えません。

初期費用や、資金回収、制度や認可のリスクなど、多くのリスクを現在は実践者が担っています。

この状態では、本当の意味での担い手は増えないと感じています。

私たちは10年以上ソーラーシェアリングを続けてきた実践者として、沖縄県と一次産業の新たな助成制度や、新しい支援の在り方について意見交換や、協議を進めています。



今後の課題と展望②

現場ではすでに、農地再生、担い手の確保、脱炭素という複数の政策目的が同時に達成されています。

では制度や支援は、現場にどこまで応えられているでしょうか。

ソーラーシェアリングが“**継続可能な農業の選択肢**”として、次の一歩を踏み出す段階に来ている。

——そう考えています。

